

# 会 議 録

## 1 会議名

平成27年度第7回春日区地域協議会

## 2 報告事項（公開・非公開の別）

(1) 諮問事項の意思決定（新市建設計画の変更）について（公開）

## 3 協議事項

(1) 出前地域協議会（仮称）の開催について（公開）

## 4 開催日時

平成27年10月21日（水）午後6時30分から午後8時まで

## 5 開催場所

上越文化会館 中会議室

## 6 傍聴人の数

なし

## 7 非公開の理由

なし

## 8 出席した者（傍聴人を除く。）氏名（敬称略）

・委員：飯田攻、池杉清子、大竹明德、竹内伊澄、中島富士一、南雲和子  
橋本桂子、宮崎光雄、山本紀昭（副会長）、吉田実（会長）  
鷲澤和省、渡部正由（欠席4人）

・事務局：中部まちづくりセンター 山田センター長、恩田係長、小林主事

## 9 発言の内容（要旨）

### 【恩田係長】

- ・会議の開会を宣言
- ・上越市地域自治区の設置に関する条例第8条第2項の規定により、委員の半数以上の出席を確認、会議の成立を報告

### 【吉田会長】

- ・挨拶

### 【恩田係長】

- ・上越市地域自治区の設置に関する条例第8条第1項の規定により、会長に議長を委

任

**【吉田会長】**

- ・会議録の確認：宮崎委員に依頼

報告事項「(1) 諮問事項の意思決定（新市建設計画の変更）について」事務局に報告を求める。

**【山田センター長】**

- ・資料No.1により報告

**【吉田会長】**

今の報告について質疑を求める。

(質疑なし)

質疑がないので終わりにする。

次に、協議事項「(1) 出前地域協議会（仮称）の開催について」審議していただく。開催すること自体については、前回会議で皆さんから前向きな発言をいただいた。対象としては、個別町内会や町内会長協議会、子どもたちなどの意見が出た。資料の説明を事務局に求める。

**【恩田係長】**

- ・資料No.2と当日配布資料により説明

**【吉田会長】**

今の説明に質疑を求める。

(質疑なし)

協議に入る。実施の可否と、どういった内容で行うかについて意見を求める。

**【竹内委員】**

「春日区の夢を語る会」を実施いただきたいが、参加者が意見を発言しやすい実施方法を考えていただきたいと思う。例えば、グループに分けてお茶菓子を置いて、お茶を飲みながら話をするというワールドカフェ方式を取り入れて欲しいと思う。中学生などは構えてしまふとなかなか発言できないと思うので、何を言ってもよいという雰囲気にしていただきたい。対象は児童生徒や若い世代に限定せず、町内会長や年配の人、地域のお母さんなど、色々な人が集まるとよりよいと思う。

**【吉田会長】**

チラシなどを配布して参集するようなかたちになるか。

**【竹内委員】**

そういう意識の人がたくさんいればよいが、なかなか難しいとは思っているので、誰かにお願いすることになると思う。

**【吉田会長】**

児童や生徒であれば学校に働きかけたりして、生徒会などを通して生徒たちをお願いしてはどうか。

**【竹内委員】**

最初は難しいかもしれないが、徐々に定着していくことができればよいと思う。1回やってみて、何でも話ができる雰囲気づくりをすることが、まずは1つ目のステップと思う。何かの答えを出すのではなく、色々な意見を言える雰囲気を作ってあげるのが私たちの役割だと思う。

**【吉田会長】**

若い人に限らず、色々な世代から参加してもらえればよいという意見が出たがどうか。方向としては、各町内会や町内会長協議会と懇談するかたちと、地域全体の住民を対象として、何かテーマを決めて実施するということになる。

**【竹内委員】**

「自分見せ」という方法、自分の頑張っていることを自慢し合うような形にすると、話が結構盛り上がる。話のキャッチボールができれば成功と思う。テーマ設定が大切だが、中学生は構えてしまとなかなか出席しづらいと思う。設定するテーマは大きく、例えば「春日区の夢」という感じの緩い設定でよいと思う。

**【南雲委員】**

先日、春日地区が小中一貫校のモデルになると回覧版で読んだ。財政面では良いことかもしれないが、子どもが主役なのに、大人が勝手に決めていくのはどうかと思う。子どもたちは小中一貫校についてどう考えているのか、といった話題にするのも子どもたちの意見が聞けて面白いかと思う。春日野町内会では「組トーク」という取り組みをしているが、「組トーク」をしても、ほとんど参加者がいない。ところが先日開催された「いきいき春日野」の音楽祭では参加人数が多かった。どうしたら人を集められるのかと思う。

**【吉田会長】**

小学生や中学生が参加すれば親も見に来るので参加者は増える。

【南雲委員】

祖父母までもが見に来れば人数はより多くなると思う。キャッチフレーズがよければ、人も集まるのかとも思う。「組トーク」はゴミの問題など、話し合うことはたくさんあるのに、参加者が少なく残念だ。

【吉田会長】

「夢を語る会」を春日野町内会で行うとしたらどう思うか。

【南雲委員】

「夢を語る会」は町内会単位だと人を集めるのが大変と思うので、春日地区全体を対象にした方がよいと思う。

【大竹委員】

世代によって考えていることが異なると思うので、子育て世代、働き盛り世代、シニア世代などの世代別懇談会もよいと思う。

【吉田会長】

優先的にやりたい世代は何か。

【大竹委員】

保育園に通っているお子さんを持つ世代が、1番問題や要望が多いのではないかと思う。また、小学校に通うお子さんの保護者世代もよいと思う。

【池杉委員】

今日の新聞に附属中学校の1年生が本町の活性化をするための授業をやっていて、本町の商店さんが放課後クラブを開くという記事があった。

前回会議でも中学生の意見を聞いたらどうかという意見があったが、大竹委員の言うように、各世代ごとに要望や思いがあると思うが、耳を傾けるといっても、なかなかそういう場がない。私たち以外の違う視点から、春日区をよくするための意見があるとよいと思う。とりあえず1番手っ取り早いのは、町内会との懇談会になると思う。自分の町内会の雰囲気は分かるが、他の町内会の雰囲気は分からないので、他町内会の話聞くのもよいと思う。

また、春日中学校はこのところ勉強の方向に傾いている。小中一貫校という話も出たが、中1ギャップというのが問題になっている。それに伴って小学校と中学校の連携で色々な交流行事がある。「いきいき春日野」の活動は交流の広がり、枝葉の1つとなっており良い活動と思っている。

地域協議会が繋ぎ役として協力できたらと思う。地域協議会で色々な団体に声をかけて繋げていき、小学校高学年から春日地域の発展を勉強してもらい、引き続き中学校でも自分の住んでいる地域の活性化について考えるようなお膳立てとして、意見を聞く機会を設けられたらと思う。

【吉田会長】

まとめると、学校を対象として実施したいということか。

【池杉委員】

できるところからやっっていこうと思う。附属中学校では、授業の一環として子どもたちに企画書をたくさん作らせ、本町商店街に提案しているそう。春日中学校がやっているかは分からないが、以前に観光について宣伝するという提案が春日中学校から出ていたと思う。

【吉田会長】

学校ではどのような取組みをしているか、情報交換がまずは必要だ。

【飯田委員】

「春日区の夢を語る会」をやる場合、世代別にやっっていければ、その中からテーマが出てくるのではないかなと思う。それから続けていければよいと思う。

【吉田会長】

町内会と懇談するかたちと「夢を語る会」のかたちと二案あるのだが、どう思うか。

【飯田委員】

「町内の夢を語る会」とするのはどうか。

【渡部委員】

将来像を語るなど、若い世代がよいと思う。その中で、将来の地域の活性化も見えてくると思う。

【吉田会長】

最初の取組としては、町内会との懇談はどう思うか。

【渡部委員】

「春日区の夢を語る」の方がよいと思う。

【鷺澤委員】

町内や春日地域の問題点を把握し、こういう方向に進めたいといった理念や考えを持った方が春日地域には多くいる。それから、敬老会や各種団体、文化スポーツの指

導者など、様々な活動をしている方もいる。そういった方を対象として出前懇談会を開催すれば、出席いただけるのではないかと考える。

春日地域全体での問題と思うが、受け身で参加できるものには多くの人が集まるが、自分が主体的に考えを述べるものへの参加者は少ない。ただし、話しやすいテーマ設定をすれば、若い人たちも参加してもらえらると思う。私の関係しているものでも若いお母さん達が参加してくれているが、参加者は固定されてくる。

最初に出前地域懇談会を実施して、地域の声を聞いた後に、「夢を語る会」を行うことが望ましいと考える。昨年の中学生のワークショップでは、各学校の代表が2、3人集まって班を作って上越市の将来について提案をしていた。我々が気付かないような素晴らしい提案があった。今年からは各中学校単位で地域をどうするのかということ提案することなので、次のステップとしてやっていただければ活性化につながるのではないかと感じる。

**【吉田会長】**

出前懇談会の対象として町内会単位と町内会長協議会が考えられるが、優先順位としてはどのように考えるか。

**【鷲澤委員】**

町内会となると、人数の多い町内と少ない町内があるので、人数的なバランスや地域の特色を踏まえて、地域の方が多く集まって提案できるようなかたちで、やっていただければと思う。

町内会長協議会を対象にする場合には、地域で問題になっていることや、地域でやってもらいたいことはないかといった具体的なことを聞けばよいと思う。以前に開催した時には、地域活動支援事業の採択結果ばかりが話題になってしまったので、そうならないよう気を付けなければいけないと思う。

**【宮崎委員】**

確認したいのだが、出前懇談会をやる目的は何か。

**【吉田会長】**

1つは、これから自主審議をやっていく上で、地域の問題を吸い上げることによって、自主審議に結び付けるということだ。地域協議会に持ち帰って、話題の1つにすることになる。

**【宮崎委員】**

たぶん財政面の話が入ってくると思う。大豆町内会でも総会の時などに色々な話ができるが、財政面で対応できないことが多い、それと同じようなかたちにならないか心配だ。

**【吉田会長】**

要望などがあれば、持ちかえって審議することになるが、私たちでできることと、できないことはある。

**【宮崎委員】**

先日、小中学校の課外活動の手伝いをしたのだが、雑談の中だが中学生からは色々な意見が出た。まずは中学生との懇談会をやってもらいたいと思う。

**【橋本委員】**

両方やればよいと思う。取組み2の「夢を語る会」をやるとしたら、色々な世代が居合わせることで、異世代の人たちと話ができる。それにはルール設定が重要になると思う。「大人の意見が強くないようにする」「どんな意見も尊重する」などのルール設定をきちんとする。雰囲気作りを間違えると台無しになってしまう。問題点の話ばかりだとトーンが低くなって、参加しなければよかったという会議になると思う。どの世代も参加してよかったと言えるような、シナリオ作りがとても大切だと思う。何のために自分たちは来ているのか。自分たちの話したことを、最終的にこの人たちがどうしようと思っているのかが分からないまま参加していると、基礎が緩いので、不安定になると思う。地域協議会の意味や役割、参加していただいた理由などを分かりやすく説明することによって、自分が地域で大事な役割を担っている1人だということを実感して帰ってもらえるようにした方がよい。家に持ち帰って家族や近所の間ですぐに実践できるような何かを見つけて、行動してもらいたいと思う。身近な所から地域がより良くなるようなかたちにもできるので、何回もやればよいと思う。

**【吉田会長】**

どのようなテーマを設定したらよいと考えるか。

**【橋本委員】**

テーマは少し面白いものがよいと思う。例えば「春日地域のコマーシャルを作る」としてはどうか。小さな企画を皆でやっていく中で、春日地域の気に入っているところなどをお互いに話合ったりしていく中で、自分たちが自覚して共有できる効果を考えるなどやり方は色々あると思う。

### 【中島委員】

「春日区の夢を語る会」についてだが、若い世代だけでなく、年配の世代からも各地区から集まって、どういう考え方を持っているのかを話し合うかたちがよいと思う。

### 【吉田会長】

皆さんから意見を聞いたが、「夢を語る会」についての発言のほうが多かったが、目途を付けやすいのは、取組1の「出前地域懇談会」のほうだ。「夢を語る会」は面白い企画だが下準備が大変と思う。

### 【山本副会長】

「夢を語る会」は次の委員さんにも引き継いでもらうべきだと思う。内容を詰めていくには少し時間が掛かると思うので、委員の残りの任期でできる町内などを対象とした懇談会を先にやった方がよいと思う。地域で取り組んでいることを知ることが大事と思う。例えば木田町内会に声をかけるなどして、とりあえずは出前懇談会をしたらよいと思う。各町内ごとにご苦労があると思うが、各地域の話聞いて、お互いに繋ぎ合わせるなどといったことができると思う。全部周りきることはできないと思うが、出前懇談会がよいと思う。財政面の話も出てくるという意見があったが、金がなくてもできることや方法があると思う。

先日、会長の代理で会長会議に出席してきたが、協議会の自主審議を行って市の予算を活用できる制度があると聞いた。そういう制度もあるということで、事務局から説明いただきたいと思う。

### 【山田センター長】

地域協議会で自発的に何かをやりたいという具体的な提案が出た場合、「地域を元気にするために必要な提案事業」という仕組みを活用いただくことができる。頸城区には観光協会がなかったが、新たにこの仕組みを活用して立ち上げている。頸城区にはコッペル号や大池などの観光資源が色々あるため、頸城区を元気にするためにまずは観光に力を入れたいという意見が地域協議会から出され、所管課の観光振興課や関係課と協議を重ね、予算がついて今年の春に設立された。具体的には、ホームページの立ち上げなどがこれから取り組まれていくようだ。

出前協議会で若い人などの意見を聞いて、出てきた意見を皆さんが審議し、これに特化してやるべきではないかということになれば、「地域を元気にするために必要な提



案事業」を活用して事業展開していくことも可能と考える。

**【吉田会長】**

山本副会長が仰ったように、私たちの任期も残り少ないので、次期委員に引き継ぐためにも、試しにとりあえず何かをやってみたいと思う。「夢を語る会」も素晴らしい取組だが残された任期を考えると難しい気がするので、私の考えでは取組1の「出前地域懇談会」を1つの町内会を対象にするか、町内会長協議会を対象にして実施できたらと思う。町内会であれば町内会長さんをお願いして、事前に町内の問題や課題を聞いて、地域協議会や活動支援事業の宣伝もしたいことを伝えて、開催日程を詰めていきたいと思う。「夢を語る会」の構想は次期の委員へ引き継ぐかたちにしたいと思うがどうか。

**【橋本委員】**

出前地域懇談会は1か所だけでやるのか。

**【吉田会長】**

まずは、サンプル的にどこかの町内をお願いして町内会館かどこかで懇談するかたちになるかと思う。町内会長協議会を対象にするのであれば、春日謙信交流館などで開催するかたちになると思う。

**【橋本委員】**

サンプルを決めた理由があるとよいと思う。春日地区は広いので、課題もそれぞれ違うと思う。

**【吉田会長】**

私の意見だが、春日野と大学前ではサロン活動をしているので、サロン活動を実際に見学させてもらって、サロンに来られているお年寄りと懇談するかたちもよいかと思う。

**【橋本委員】**

例えば、「いきいき春日野」は地域だけでなく大学生や留学生と交流活動をされているし、小学校や中学校の生徒や先生とも繋がっている。地域内連携を世代も超えてやっている。そういう取り組みは他ではやっていないという理由で、春日野町内を選んだとすることができる。補助金で関わりのある地域協議会ということで説明すれば、参加者にもアピールできるかもしれない。

**【鷺澤委員】**

残された任期も短いので、例えば春日地域を3つくらいに分けてはどうか。町内の役員だけでなく、色々な団体の代表者にも声を掛けてやっていけばよいと思う。1つ1つの町内よりも、春日地域を3つくらいにわけてやれば、任期内に一定の整理ができて次の委員に引き継いでいけると考える。東西なりで三等分にすればよいと思う。特に川に沿って地域ごとに分けていけば、かなりよい話ができるのではないかと思う。

**【吉田会長】**

任期や天候も考えると11月か12月に実施したいと思う。第1回目は、取組1の「出前地域懇談会」になると思うが皆さんはいかがか。

**【竹内委員】**

「夢を語る会」にこだわらないが、会議の方法をテーブルごとに別れてやって欲しい。陳情を言う場ではなく、意見を出し合うというかたちでやりたい。各グループごとに司会者を設けたほうがよい。出て来られる方は、かなりお話をされる方だと思う。そうすると、その方だけの意見にならないようにしたい。

**【吉田会長】**

町内の場合は、町内会長にまずはお願いすることになると思う。

**【竹内委員】**

人数はどのくらいを想定しているか。人数が少ないとテーブルごとに分けることはできない。

**【吉田会長】**

白紙の状態だ。やってみないと分からない。とりあえずは町内会か複数の町内を対象に「出前地域懇談会」を開催することでよいか。特に、ここの町内がよいという意見はないか。春日野町内という意見もあったし木田町内会という話もあった。

**【橋本委員】**

木田町内会には古くから住んでいる方も最近から住んでいる方も両方とも多くいらっしゃるが、ファミリー綱引きでは毎年すごく団結している。地域コミュニティがきちんとしているかどうかは行事の時に分かる。どうやっているのか木田町内の秘密を知りたいと思う。

**【鷺澤委員】**

木田町内も頑張っているが、今迄の地域活動支援事業を振り返ると、春日野町内が新しい提案やアイデアが多く出していると思う。春日野町内から口火を切って

もらいたいと思う。また、春日野町内の協議会委員も多くいるので、声を掛けやすいかと思う。

**【吉田会長】**

第1案として春日野町内という意見が出た。今回は初めてなので、1町内でやったほうがよいと思う。取組状況を聞いたり、春日野は新興住宅地なので、そういった面での問題点なども聞ければよいと思う。第1案として春日野で、その次に木田としてはどうか。

**【橋本委員】**

こちらから、教えていただきたいという姿勢が必要だ。

**【宮崎委員】**

私は大豆町内会だが、町内会と老人会がとてもよい関係だ。明日、老人会の旅行があるので、もし地域協議会から声が掛かったら参加してもらえるよう話をしてもよいか。

**【吉田会長】**

よいと思う。これは第1弾であって、第2弾や第3弾もやっていきたいし、次期委員へも引き継いで行けることと思う。

**【宮崎委員】**

先程若い人たちにも声をかけてもらいたいという話があったが、昼は勤めていて夜は忙しい。特に子育て中の方は、時間を作るのが難しいので、集まるのは年配者ばかりになってしまう。

**【吉田会長】**

対象とする町内の候補としては、春日野、木田、大豆の3町内とし、事務局に交渉していただくということでよいか。

(「はい」の声)

日程は11月か12月のどこかで考えていきたいと思う。11月下旬以降になるかと思うが事務局はどうか。

**【恩田係長】**

11月下旬から年内で対応いただける町内を対象として、開催することになると思う。

**【吉田会長】**

事務局から町内会と日程調整をしていただく。平日であれば、できるだけ夕方以降、土日であれば昼間も含めて調整することになると思うがよいか。

(よしの反応)

内容は、地域協議会の宣伝や地域活動支援事業の話と対象町内の取組の話や課題をお聞きするかたちとする。内容について何か意見があるか。

**【橋本委員】**

色々な活動をしている人がいるが、肝心な人が出て来ない場合もあると思う。また、地域活動支援事業に提案してくださった方はどうか。

**【吉田会長】**

町内を構成している諸団体、老人会などになるだろう。

**【恩田係長】**

受け入れていただく町内によって異なると思うが、お越しいただける方は年齢層の高い方が中心になるかと思う。まずは町内会長さんと話をし、調整を進めることになるが、日頃の暮らしの中で感じている地域の課題などについて、地域協議会委員と懇談する機会を設けたいと思うがどうかという投げかけを町内会へすることになるかと思う。町内会との調整を進めるにあたって、委員の皆さんからのご意見があれば頂戴したい。

**【鷺澤委員】**

暮らしということであれば、環境、防犯、少子高齢化、まちづくりなど、全て含まれるので、よろしいかと思う。

**【吉田会長】**

次回会議で調整結果を皆さんにお知らせして、当日の内容について、話し合いたいと思うがよいか。

(「はい」の声)

出前地域懇談会についてはこれで終わりにする。

- ・ 次回の協議会：11月18日（水曜）午後6時30分から
- その他に事務局から何かあるか。

**【恩田係長】**

- ・ 事務連絡

**【吉田会長】**

- ・会議の閉会を宣言

## 1 0 問合せ先

自治・市民環境部自治・地域振興課中部まちづくりセンター

TEL : 025-526-5111 (内線1449、1547)

E-mail : [chubu-machi@city.joetsu.lg.jp](mailto:chubu-machi@city.joetsu.lg.jp)

## 1 1 その他

別添の会議資料も併せてご覧ください。